

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	宇宙開発関係者の海外派遣	担当部局庁	研究開発局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和45年度～平成22年度	担当課室	参事官(宇宙航空政策担当)	参事官(宇宙航空政策担当)	松尾 浩道			
会計区分	一般会計	施策名	X-6 宇宙・航空分野の研究・開発利用の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	宇宙基本計画 (平成21年6月2日宇宙開発線略本部決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の宇宙開発利用に関する科学技術の水準の向上のため、宇宙に関連する業務に従事する者を、宇宙関係先進国の研究機関等に派遣し、諸外国との宇宙開発利用に関する国際協力等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	宇宙開発利用に関する関係者を長期間(1年以内)、宇宙先進国の研究機関等に派遣し、宇宙開発関係科学技術等を習得させる。また、宇宙開発利用に関する専門家を短期間(3ヶ月以内)、宇宙先進国の研究機関等に派遣し、宇宙開発利用に関する共同研究や調査研究等を実施させる。対象は文部科学省、国土交通省、経済産業省等宇宙開発利用に関する府省の職員とする。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	34	32	32			
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	34	32	32			
		執行額	32	23	30			
		執行率(%)	94.1%	71.9%	93.8%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	人材育成に関する施策であり、定量的な成果の測定は困難		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	派遣者数		活動実績 (当初見込み)	人	11	9	7	—
						(7)	(—)	
単位当たりコスト	4.5(百万円/人)		算出根拠	単位当たりコスト=予算額/派遣者数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				※平成22年度限りの事業				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めた。</p> <p>○平成22年度の予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、宇宙分野の国際関係事業を整理するために、平成23年度よりいったん事業を廃止し、他の国際関連事業と整理統合を行った。その際、短期の派遣については、実施する必要性が低下したことから平成23年度からは廃止した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
—	平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>【平成21年度行政事業レビュー】</p> <p>●事業番号:0293</p> <p>●事業名:宇宙開発関係者の海外派遣</p> <p>1. 事業評価の観点:この事業は、宇宙開発利用の関係者を海外に派遣し、国際協力等を行う長期継続事業であり、平成21年度は予算の執行率も低くなっている。</p> <p>2. 所見:20年以上続く長期継続事業であるが、専門性の涵養の観点から一定の必要性が認められる。ただし、短期の派遣について、IT技術の発達等を受けて実施する必要性が低下してきていることから、廃止するとともに、長期の派遣について、宇宙分野の国際関係事業が本事業以外にも存在していることから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査しつつ、予算を縮減すべきである。</p>			

A. 文部科学省
30百万円

{ 在外研究員等旅費 30百万円

{ 宇宙開発関係在外研究員及び宇宙
開発利用国際協力に伴う専門家の
派遣 }

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	宿泊費・日当・交通費等	30			
計		30	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0